



高齢者支援センター・ロザリオ訪問介護事業所



目次

| | |
|---------------------------------------|---|
| 巻頭写真「高齢者支援センター・ロザリオ訪問介護事業所」 | 1 |
| 年頭所感 | 2 |
| 海上療養所医師就任挨拶 | 4 |
| 創立記念日行事 | 5 |
| 令和7年度障害者週間行事 | 6 |
| はーとふるAsahiマルシェに参加して | 8 |
| 各種表彰 | 8 |
| 第30回ロザリオ福祉まつりお礼 寄附・協力団体/参加団体/ボランティア一覧 | 8 |
| イオンタウン旭店様よりサンタさんのサプライズプレゼント | 9 |
| 聖心女子学院様よりクリスマスプレゼント | 9 |
| 米本評議員の知人大嶋源子様より | 9 |

| | |
|-------------------------|----|
| 大食堂エアコンのご寄附 | 9 |
| 寄附者御芳名 | 9 |
| 第27回長嶋茂雄野球大会 | 10 |
| 第2回ポッチャ大会優勝 | 10 |
| もちつき会 | 10 |
| 職員バレーボール大会 | 11 |
| 新任者紹介 | 11 |
| Photo Gallery (年末行事大特集) | 12 |
| Instagram 開設しました! | 14 |
| ボランティア募集のお知らせ | 14 |
| 職員募集のお知らせ | 14 |

年頭所感

理事長 石毛 敦

新年明けましておめでとうございます。年頭のご挨拶を申し上げます。

職員の皆さんの日頃のご努力に、そして長い期間に亘り私どもの事業を支えて下さってきた多くの支援者の方々に深く感謝申し上げます。

コロナ感染は、今年も真冬や真夏などの時期に集団感染も施設・事業所によつては、見受けられましたが、感染対応の経験値の蓄積とスキルの向上により、幸いなことに重症化することは無くなりました。社会的な、また法人施設内での感染状況に機動的に対応して、感染対応を柔軟に変化させることにより、福祉まつりなど諸行事を含めてコロナ以前の日常生活を取り戻しております。

新型コロナウイルス感染症の世界的流行以来、地域的な戦争・紛争、経済の悪化など、猛烈な速度で様々な分野で大きな変化が同時多重で進行しています。もしかしたら、私たちは歴史の大きな転換点に位置し

て、その目撃者、経験者であるのかも知れません。危機の時代、動乱の時代は、変化の時代、チャンスの時代でもあります。平和な時代には埋もれていた人材がこの大変化の時代には急成長したり、その逆もあるかも知れません。

我が国に目を向けると、少子高齢化と人口減少の同時進行、抑制できない物価や金利などインフレーションの進行、格差の拡大や貧困の増大、第四次産業革命とも言われるAIやICTなどデジタル化に伴う産業や社会構造の急速かつ不可逆的な変化などは、戦後80年に亘る人口増加や経済成長を前提とした経済、政治、社会的システムを根本から転換する必要性を強く促しています。

急激かつ大規模な変化の時代には、様々な理由で苦しんでいる人、困窮している人々を世間の荒波から守り、受け入れる防波堤や丈夫で安全な網が不可欠となります。今まで以上にこれからは私たち福祉の役割や責任が重要になっ

てくると考えます。

昨今は技術の進化で、AIやDXなど、人工知能や人型ロボットが既存の人間の労働にとつて代わる時代に突入しております。

世界最先端のAI大国アメリカでは、AIが人の仕事を奪いつつあるようです。AI効率化の名の下、アマゾン、マイクロソフトやGMなど最先端の世界的巨大企業は採用を急速に絞り込み、100万人近い大リストラを断行しているそうです。アメリカでは、名だたる有名大学を卒業しても、大企業に就職することが困難になり、給与が高く学士号を必要とする職種は他の職種以上にAIに仕事を奪われているようで、ホワイトカラーの職業が必要なくなる時代が始まっているようです。

その反面、電気、建設、医療・福祉など手に職を持った技術職は今の所はAIやロボットで完全な入れ替えができませんので、求人が殺到して給料が急上昇していると聞きます。ホワイトカラーと技術職の逆転現象です。良くも悪くも、我が国日本ではアメリカと異なり、国の成り立ち的に和を尊重するため、時代や技術の変化を緩やかに受け入れるお国柄ですか

ら、これほど過激には進まないと思います。この流れ自体は決して変えられないと思います。

このような技術職の一つである、介護職員やケースワーカー、保育士、看護師、医師、理学療法士など、福祉施設で働く我々のような職種も、効率化省力化はできません、AIなどによる完全な代替は現状では難しいと思います。職員の皆さん、どうかご自分の専門性と技術に、福祉業界の将来性に、そして福祉を職業として選択したご自分自身に大きな自信と誇りを持って頂きたいと思っています。これからは、一般企業のホワイトカラーから私達のようなエッセンシャルワーカーへの転職すなわち雇用の流動化も増えていくことだと思えます。

世界最大手のコンサルファームMcKinsey(マッキンゼー)は、AIが2030年までに全世界で最大8億人(日本では3000万人)の職を奪うと予測しているようです。コンサル予想なので、何らかの狙い・思惑があるでしょうから、言葉通りに受け取るわけにも行きませんが、技術の進歩で無くなる職業が発生すると同時に新たに誕生する職業も出て来るでしょうし、実際に出てきております。馬車が

無くなり、馬を操る馭者と言う仕事が無くなりましたが、自動車の普及により、プロのドライバーと言う新しい仕事が生まれたように。

AI、ロボット関連の新しい職業がたくさん生まれるでしょうから、既存の職業から雇用の転換も急速に進行すると思います。

次に経済についてです。日本の政府債務残高のGDP比は240%超で他の主要7カ国（G7）で最悪のレベルです。これだけの債務返済には、消費税率を40パーセント以上に上げなくてはなりません。国民負担率が50%を超える現状で国民の同意を得ることは難しく、現実的に不可能だと思います。しかし、財政状態の悪化により円の価値がますます下がりますし、ただでさえ金利が上昇している折、国債の償還・利払いで益々債務が増大するでしょうから、これ以上放置もできませんので、政府としては意図的にインフレ（物価高騰）になるように誘導又は放置して、インフレ税として債務を減らすようにしているのではと考えます（債務がこれだけあるのにさらに財政支出・減税をしてインフレを加速させようとしているので）。横文字好きな政府や

メディアが敢えて、インフレとは言わず、言葉の言い換えで物価高騰とすり替えているのも、国民がインフレ税に気がつかないように御法度としているようでインフレ誘導の裏付けともなります。

政府の債務が減少するのは良いのですが、国民の資産の減少が政府の債務の減少に移転するだけです。国民にとつては生活が益々苦しくなり、とてつもない痛みが伴います。かつてのドイツやアルゼンチンやブラジルのように、ハイパーインフレに陥らないことを祈ります。

政治についてです。台湾を巡る高市総理の発言により、中国との外交関係が悪化しているようです。武力による現状変更は国際社会としてとても容認できないことです。高市総理の発言にも理がございいます。しかしながら、外交は2枚舌、3枚舌ですから、本音を不用意に漏らして、徒に拡張・覇権志向のある国を刺激するのはいかがなものかと思えます（中国を怒らせることが、所期の目的かも知れませんが）。

このまま諍いがエスカレートすれば、TV・新聞などのオールドメディアが煽り、憲法改正議論も

再燃し、国防費の増額など国民も負担を強いられると思います。戦前のように言論の自由など様々な自由や権利も制限される可能性も高いと思います。戦争で得をするのは軍需産業・武器商人だけで、国民は命・健康・財産など一方的に略奪されますので、軍拡・戦争に繋がる憲法改正は厳に慎むべきと考えます。

日本を遥かに超えて人口が急減し少子高齢化する中国への過度な心配は不要ですし、ともに人口が減る日中両国が通常戦争に備えるのは愚かと思えます。

最期にメディアについて。ウェブを活用したSNSを始めとするニューメディアの出現と急速な普及により、電通などの広告料収入も既にTV・新聞などを大幅に上回っています。かつてのテレビがラジオに取って代わったように、テレビや新聞などのオールドメディアも同じ道を辿るのではないのでしょうか。

SNSの優れている所の一つは、一人ひとりが情報の発信者・ジャーナリストになれることです。即ち市民ジャーナリストです。そして一方的に受け取るだけでなく双方向でコミュニケーション

みです。更には玉石混交ではありませんが、オールドメディアなどでは決して報道できない真実なども発信されます。その反面、偽りの発信も多いので、情報の受け手がそれを騙されないで判別する力がこれまで以上に重要になります。

一方、オールドメディアは信頼装置から誘導装置になりつつあるのではないのでしょうか。報道を装いながら、「何を伝え、何を伝えないか」で国民の認識をコントロールしているのではないのでしょうか。どのテーマのニュースでも全てのオールドメディアが殆ど同じ意見であることに非常に違和感を感じます。様々な意見を提示して、受け手に考えさせ、個人個人の考えを形作ることが大切ではないのでしょうか。

プロパガンダ（世論誘導）を含めた一方向性の報道や「国民にとって大切な情報」に対する報道しない権利の行使が問題だと思います。

国民の知る権利に應えるために、一切の予断、偏見や特定の信条、利益に依らずに報道することが本来のジャーナリズムであり、それが正當に機能するには、ジャーナリストが、株主などの資本、広告主などの利害関係者、政府や業界団体などの権力、さらに

は取材対象からの圧力等より独立していることが最低限必要だと考えますが、日本のオールドメディアが、ことごとく、株主利益最優先の上場メディア持ち株会社の支配下にあり、これら持ち株会社は全て30%超株式が外国資本所有であることを考えると偏りに偏った今の状況も肯けます。

フェイクニュースを流す玉石混交なSNSに規制をと言う意見もありますが、商売敵のオールドメディアがライバルを貶めようとしている構図が透けて見えますし、政府は自分たちの都合の良いように世論誘導をしたいでしょうし、それ以上に言論の自由は何よりも重要です。人々が自分の意見を自由に言えなければ、民主主義は成り立たないからです。民主主義の基礎は言論の自由と知る権利です。自由と議論は安全を担保します。問題を隠蔽して懸念しないことが安全安心ではないと思います。

今年には創設者の戸塚文卿神父が結核療養所ナザレトハウスを開設して丁度98年目、また戦後に宗教法人聖フランシスコ友の会が医療事業団から海上寮を買戻して80年目、そして社会福祉法人として設立登記から75年目の年となります。

長きに亘り、この地で医療・福祉活動を継続できたことは、ひとえに地元の方々のご理解やご協力に因る所が大きいと思います。

第二次大戦前の結核が不治の病であった時代、結核患者のいる家の前を通る際には息を止めて大急ぎで走り去った様な時代に、排斥することなく温かく受け入れて頂いた地域の皆様、昭和の終わりがら平成の時代に障害者施設を建設して行った際にも、快く支援して頂いた地域の皆様、交流していく中で気付かないことを気付かせて頂き、弱気になっていた際には後押しをして頂いた皆様、神道や仏教徒の方々が国民のほとんどを占める日本国内で、宗教的に非常に少数派マイノリティーであるキリスト教のカトリック施設を差別や偏見、排除をすることなく、受け入れて温かく見守って下さった方のご協力の賜物と思います。先人たちに替わって重ねて感謝致します。

創設の理念「光の当たりにくい人々と共に歩む」を念頭に、常に初心に立ち返り、運営をさせて頂きたいと思います。本年も宜しくお願い申し上げます。



海上寮療養所医師就任挨拶

海上寮療養所 精神科医師 浅野聡子

みなさま、はじめまして。2025年12月1日付で海上寮療養所に着任させていただきました、精神科医師の浅野聡子と申します。

生まれ・育ちは東京都ですが、父の仕事の都合で、幼少期に千葉県成田市や茨城県大子町に住んでいた時期があります。福島県立医科大学を卒業後、福島県立医科大学附属病院で初期臨床研修・後期研修を行い、大原医療センター、福島赤十字病院、さいたま赤十字病院で勤務していました。

趣味はおいしいものを食べることで、休日は友人達と外食にいたり、スイーツをインターネットでお取り寄せして楽しんでます。千葉県旭市は、魚介類はもちろん、お肉も、野菜も、卵も、果物も、何でもおいしいと伺っています。おいしいお店や食べ物の情報を教えていただければとても嬉しいですよ。

大学卒業以来、ずっと急性期の総合病院精神科に勤務して왔습니다。総合病院ならではの楽しみややりがいもたくさんあったのですが、短期間の入院での関わりが多

く、疑問や葛藤もたくさん感じていました。

そんな中、海上寮療養所に勤務されている坂元伸吾先生にお声かけいただき、初めて海上寮療養所に見学に伺った際、想像していた以上に素晴らしい環境で目からうろこが落ちたのを覚えています。自然豊かで風光明媚な環境とのびのび過ごしてらっしゃる患者さんたちと。職員の方々の、家庭的で親身で、歴史と伝統を大切に働いてらっしゃる姿に、感銘を受けました。ここで私も働きたい、ぜひ色々勉強させていただきたい、と思いました。

入職にあたっては、たくさんの方々に配慮、ご支援をいただきたき、感謝の思いでいっぱいです。みなさまのご期待に添えられるよう、少しでも恩返しできるように、精一杯、頑張らせていただきます。

若輩者で、未熟なため、至らない点や気づかない点が多々あるかと存じます。みなさまのご指導・ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

創立記念日行事

法人本部
事務課長 岡澤和則

第Ⅰ部 永年勤続表彰

令和7年10月9日（木）本会の小原ケイ記念聖堂において、創立記念日行事が執り行われました。

第Ⅰ部は、職員の多年にわたる功績を称えて永年勤続表彰式が行われました。本年度の受賞者は、勤続30年が5名、勤続20年が9名、勤続10年が17名の合計31名です。表彰式では本会の石毛理事長が祝辞を述べられ、受賞者に表彰状と記念品が授与されました。その後、受賞者を代表して、聖マリア園の飯島広司施設長が謝辞を述べられました。

受賞者の皆様、永年勤続の表彰おめでとうございます。長きにわたり本会の事業運営にご尽力いただき、誠にありがとうございます。健康には十分ご留意され、引き続きお力添えをいただけますと幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



【勤続30年】

小池飯林神
出田島崎
 広 静
 薫 和 司 子 満



【勤続20年】

林平伊渡櫻及船石林
野藤邊井川木田
康秀文菜和昌拓真弘
大樹洋摘美宏哉美志

【勤続10年】

鈴岩伊伊中江小成菅
木井藤藤村崎林澤生
拓卓美美大珠有雅智
巳也子桜吉実紀高子

吉石秋實野永荒飯
川橋葉川口塚井島
奈弥陽紀早 貴 真
津生介子苗彩德帆

創立記念日行事

日時 令和7年10月9日(木)

13時00分～15時30分

場所 小原ケイ記念聖堂

第Ⅰ部 永年勤続表彰式

第Ⅱ部 記念講演

演題

「信仰の歩みを振り返って
ー神からいただいた気づきー」

講師：浦野 雄二 師

カトリック習志野教会 主任司祭

第Ⅱ部 記念講演

第Ⅱ部は、カトリック習志野教会の主任司祭である浦野雄二神父を講師としてお招きし、記念講演が行われました。「信仰の歩みを振り返ってー神からいただいた気づきー」を演題として、浦野神父の幼少期から現在に至るまでの出来事、その出来事を通じて得られた気づきについて、ご講演をいただきました。

特に神学校入学後に1年間を過ごした栃木県的那須にある「ガラリヤの家」での出来事に関するお話が印象深く、「私たちは誰かとの比較の中で生きているわけではない」などのメッセージが心に残りました。様々な情報が飛び交い、自身の価値や存在を見失いそ



うになることが多い現代社会において、私たちが生きていく上でとても大切な意味が込められていると感じました。

この記念講演を通じて、浦野神父からいただいた気づきを私たちも活かしていければと思います。お忙しい中、貴重なご講演をいただきましたことに職員一同心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

浦野雄二神父のご紹介

1960年
生まれ

東京都墨田区
ご出身

司祭叙階
1996年

令和7年度障害者週間行事

12月4日(木) 東総文化会館で開催した本会の障害者週間行事において、ボランティア・功労者表彰式を行い、松下やえ子様にはボランティア感謝状、ダオティウイ支援員に功労者表彰状を授与いたしました。

ボランティア表彰

海匠ネットワーク 所長 英二馬



松下やえ子様は2011年の東日本大震災直後から被災者の心のケアを目的に「手作り

遊びの会」を開催されました。避難所から仮設住宅、コミュニケーションセンターMado-kaと活動の場は変わりましたが、震災から14年経過した現在も毎月1回、手作り遊びの会を継続して行われています。コロナ禍等の困難な時期や環境の変化があっても活動を絶やさず、着実に積み重ねてこられました。今では被災者のみならず、地域住民など新しいメン

功労者表彰

執行役員 荒井隆一



ダオティウイ支援員は、2021年に本会初の特任技能の職員として入職後、持ち前の

明るさと勤勉さを生かして働いています。本会の外国人材雇用においては、ご自身の持つネットワークを活用し、多大な貢献をしてくださいました。また、将来的に日本で働き続けたいという思いを強く持たれて勉強し、日本語習得の他、2025年1月実施の第37回



介護福祉士国家試験に合格をするなど、ひたむきに努力をされています。このような功績を称え、障害者週間行事において、石毛理事長より功労者表彰状が授与されました。今後も様々な場面で活躍をしてくださると思います。このたびは本当におめでとうございます。引き続きよろしくお願いいたします。

基調講演

海匠ネットワーク 所長 英一馬

基調講演では、一般社団法人ひきこもりUxX会議代表理事の林恭子様をお招きし、ご自身の不登校・ひきこもりの長く苦しい体験と、当事者の声を軸に、支援のあり方を問い直すお話をいただきました。

まず印象に残ったのは、不登校・ひきこもりは「怠け」や「病気」ではなく、生きるため・命を守るための行動であるという視点でした。追い詰められ、これ以上頑張れない中で立ち止まることは、当事者にとって必死の選択であり、外から無理に動かすことがかえって回復を妨げるという指摘は身につまされるものがありました。

次に印象に残ったのは、支援の出发点は就労や自立ではなく、「生



きていていい」「ここにいていい」と実感できる安心な居場所を作るという点でした。当事者の多くが自己否定感と孤独を抱えており、理解され、共感される経験がエネルギーを回復させることにつながるとお話しいただき、居場所づくりと家族支援の重要性について学びました。

シンポジウムでは、ご講演いただいた林さんに加え、NPO法人みんなの居場所ありのまま理事長内田美穂さんと、いんば中核地域生活支援センター所長川野優さんにご登壇いただき、皆さんの実践やお考えについてお話しをいただきました。

お二人から伺った「そのままでもいい」「生きていてくれればいい」と受け止めることで、本人が回復する力を取り戻していくという日々の実践と経験談には強い説得力がありました。支援とは何かをすることではなく、何もしなくても大丈夫だと思える空気をつくること。その姿勢こそが、当事者と家族の苦しさを和らげ、変化の土



台になるのだと感じました。

障害者週間行事の冒頭で石毛理事長が次のように挨拶をいたしました。「現代の我々が生きている競争社会は、大声で意見を言える人、鈍感力の強い人、他人を平気で押しのけられる人が有利になるように設計されており、社会の仕

組みが一方に偏っているように感じる」と。皆さんも、この講演会を通して、ひきこもりは、誰でもなり得るものであり、これは当事者個人の問題ではなく、社会の問題であると強く感じたのではないのでしょうか。

引き続き我々は、当事者の「本音」に耳を傾け続け、生きづらさを抱えて生きる方々とどう支えあうかを考え活動していきたいと思えます。

障害者週間行事を盛況のうちに終えることができましたことを、ご登壇いただいた皆さんをはじめご来場いただいた皆様、地域住民の方々、関係機関の方々に感謝いたします。ありがとうございました。

はーとふるAsahiマルシェに参加して

ワークセンター 管理者 林弘志

12月9日の昼さがり、旭市役所ロビーにて「はーとふるAsahiマルシェ」が開催されました。

障害への理解促進を目的に、障害者就労施設で作られたパンやお弁当、雑貨などが販売されました。

今回で3回目の開催となり、ロザリオからはワークセンター、みんなの家、聖家族作業所の3事業所が参加しました。

噂を聞きつけたお客様が開場前から訪れ、会場は大賑わいとなりました。出店した各施設にとっても、日頃の成果を直接伝えることができた貴重な場となりました。



全国社会福祉協議会会長表彰

平 白
野 井
逸 正
子 和

千葉県社会福祉協議会会長表彰

林 高 根 伊 渡 櫻 安 及 菅 小 喜 船 大 椎 石 日 林
山 岸 藤 邊 井 西 川 谷 森 田 木 木 名 田 高
康 ま 成 文 菜 和 八 昌 一 正 沙 拓 広 柳 真 玲 弘
す み 明 洋 摘 美 子 宏 恵 道 苗 哉 恵 子 美 子 志
大

千葉県社会福祉事業
共助会長期在籍会員顕彰

尾 柏
形 村
豪
拓 聡

第30回ロザリオ福祉まつりお礼 寄附・協力団体/参加団体/ボランティア一覧

【参加団体】

| | |
|----|---------------------------|
| 1 | Shellies |
| 2 | YAMADA 星太鼓 |
| 3 | 多古リーブス |
| 4 | 外房チアリーディングクラブ COASTERS'99 |
| 5 | 光ウィンドオーケストラ |
| 6 | 野中地区お囃子会 |
| 7 | LANIKAI |
| 8 | TORIKO Burger |
| 9 | モアナ |
| 10 | asian dining FESTA |
| 11 | Groovy coffee stand |
| 12 | 幸せ運ぶドーナツ屋さん somali |
| 13 | インドレストラン TAJ |
| 14 | AND RIVER |
| 15 | 又兵衛 |
| 16 | どんぐり山のクマさんとなっちゃん |
| 17 | OHANA |
| 18 | 社会福祉法人さざんか会 笹川なずな工房 |
| 19 | NPO 法人はんどいんはんど東総 ひまわり工房 |
| 20 | 社会福祉法人創成会 ワイズホーム |

【寄附・協力団体】

| | |
|---|------------------------|
| 1 | 千葉興業銀行 旭支店 |
| 2 | 八日市場瓦斯株式会社 |
| 3 | 有限会社ユーシン電設 |
| 4 | 抹茶カフェ口徳庵 |
| 5 | 社会福祉法人 大泉旭出学園 大利根旭出福祉園 |

【ボランティア】

| | |
|----|----------------------|
| 1 | 淑徳大学 |
| 2 | 植草学園大学 |
| 3 | 城西国際大学 |
| 4 | 香取おみがわ医療センター附属看護専門学校 |
| 5 | 旭中央病院附属看護専門学校 |
| 6 | 銚子市立銚子高等学校 |
| 7 | 千葉県立銚子商業高等学校 |
| 8 | 千葉県立匝瑳高等学校 |
| 9 | 千葉県立佐原高等学校 |
| 10 | 千葉科学大学附属高等学校 |
| 11 | 旭市立干潟中学校 |
| 12 | 旭市立海上中学校 |

ご協力ありがとうございました



イオンタウン旭 サンタさんのプレゼント

旭市こども発達センター 副主任 岩澤有里



12月16日（火）に行われたクリスマス会にて、イオンタウン旭店様より2名のサンタさんが来園されました。子供たちからは「大きなサンタさんだね!」と驚きの声と、喜ぶ姿が見られとても盛り上がりしました。

イオンタウン旭店様から子供たちに、かわいくキャンディーの形にラッピングされたタオルを頂きました。貴重な経験を、ありがとうございました。

聖心女子学院様より クリスマスプレゼント

ロザリオ発達支援センター 香取雅子



聖心女子学院様より、今年も子供たちへの心のこもったクリスマスプレゼントを頂きました。子供たちが大好きなお菓子の詰め合わせに手作りのクリスマスカードが添えられていました。

プレゼントをもらった子供たちの表情がとても印象的でした。おかげさまで素敵なクリスマスが過ぎることができました。温かいお気持ちを職員一同、心より感謝申し上げます。

大食堂エアコンのご寄附

聖家族園 科長 渡邊菜摘



聖家族園大食堂に家族会よりご協力をいただき、エアコンが設置されました。今までの床置き型エアコンに比べ、壁上部に付いたことで食堂も広くなり、見た目もスッキリし、寒い時期も温かく快適に過ごせます。家族会の皆様、ありがとうございました。

聖母通園センター



米本評議員の知人
大嶋源子様より

スノーマン
素敵なお人形を頂きました。
ありがとうございました。

寄附者御芳名

令和7年
10月1日
～
12月31日

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|---------|----------|----------|----------|-------------|---------|---------|---------|------------|--------------|---------|---------|----------------|----------|----------|---------|-------------|---------------------|-----------------|--------------|---------|--------|----------|---------------------|---------|---------|
| 大野 幸子 様 | 飯田 武也 様 | 高橋 順子 様 | 黒崎 知子 様 | 中井 邦明 様 | 秋山 世以子 様 | 吉田 佳代子 様 | 武多和 君子 様 | カトリック松戸教会 様 | 吉田 和子 様 | 久米 倫男 様 | 中嶋 和子 様 | まつざわコーヒー 様 | カトリック西千葉教会 様 | 飯島 英明 様 | 高橋 延広 様 | レデンブトリスチン修道院 様 | 聖心女子学院 様 | 小関 友紀子 様 | 鈴木 春雄 様 | 聖心女子学院五月会 様 | 旭地区遊技場組合 組合長 小川憲二 様 | 聖心女子学院 中高もゆる会 様 | 木村屋建築設計事務所 様 | 大嶋 源子 様 | 林 恵子 様 | 米本 弥栄子 様 | 陶芸教室 泉の会 代表 若林加代子 様 | 加瀬 政衛 様 | 関本 光彦 様 |
|---------|---------|---------|---------|---------|----------|----------|----------|-------------|---------|---------|---------|------------|--------------|---------|---------|----------------|----------|----------|---------|-------------|---------------------|-----------------|--------------|---------|--------|----------|---------------------|---------|---------|

第27回長嶋茂雄旗争奪野球大会

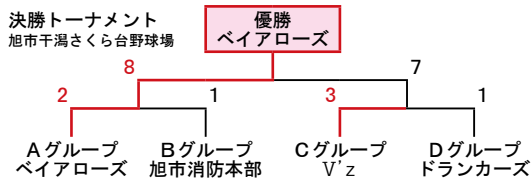
長嶋茂雄旗争奪野球大会事務局

本会主催の長嶋茂雄旗争奪野球大会が、令和 7 年 10 月 5 日（日）開幕いたしました。第 27 回を迎えた本大会は、全 12 チーム（4 グループ）による予選リーグ（夏季開催）を勝ち抜いた 4 チームが決勝トーナメント（秋季開催）を争う新たな方式を採用しました。

前回大会の優勝、準優勝チームの予選リーグでの対戦、安定した実力を誇る古豪 V、Z の躍進、そして、ここ一番での一投一打で他を勝ったベイヤローズの初優勝とたいへん見ごたえのある大会となりました。このことをご報告いたします。

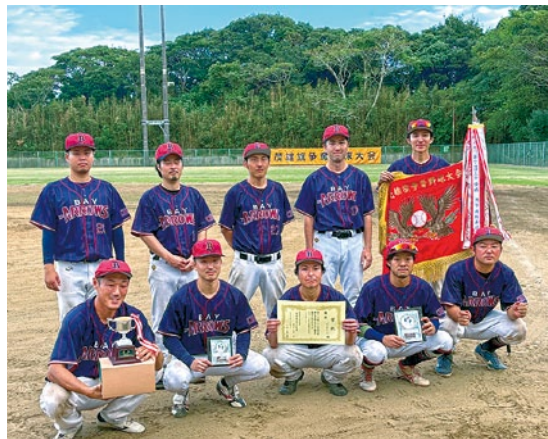
大会開催にあたりご尽力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

本大会は、故長嶋茂雄氏より「社会福祉振興のために」と優勝旗を寄贈していただいたことから始まり、30 年以上の歴史を誇る大会（新型コロナウイルスの影響により 4 年間の中止）となりました。今後も本大会を通じて社会福祉事業の推進に努めてまいります。



予選リーグ：旭市スポーツの公園野球場

| A グループ | | B グループ | |
|-----------------------|---------|---------|---------|
| ベイヤローズ | 2 勝 | 旭市消防本部 | 2 勝 |
| 旭中央病院 | 1 勝 1 敗 | 旭市役所 | 1 勝 1 敗 |
| ASAOKIDS ★ UNITED 保護者 | 不戦敗 | パワーズ | 2 敗 |
| C グループ | | D グループ | |
| V'z | 2 勝 | ドラムカーズ | 2 勝 |
| 日清紡 | 1 勝 1 敗 | 九十九里ホーム | 1 勝 1 敗 |
| 野栄福祉会 | 不戦敗 | カトマンズ | 2 敗 |



第2回ボッチャ大会優勝

聖マリア園 荒井貴雪

千葉県身体障害者施設協議会主催の第 2 回ボッチャ大会に参加してきました。

ボッチャとはジャックボールと呼ばれる白いボールに赤と青のそれぞれ 6 球ずつのボールをいかに近づけるかを競うスポーツです。ルールは県身協独自のルールとなっており、誰でも障害の差異なく楽しく行えるものでした。

練習時間を十分に取れず、不安のある中での参加でしたが、結果として同点からのタイブレイクで勝利するなど白熱した試合を繰り返し、見事優勝を果たすことができました。



もちつき会

ナザレの家あさひ 伊藤菜里

12 月 27 日（土）、社会福祉協議会様よりご寄附をいただいたもち米を使用して、毎年恒例のもちつき会を開催しました。

当日は底冷えする寒さでしたが、杵と臼で力いっぱいいたお餅の味は格別だったことと思います。雑煮・あんこ・きなこ・からみ・みたらしと、多様な味わいで、皆さんに笑顔溢れるひと時を過ごしていただくことができました。

また、黒潮会の皆様をはじめ、外部の関係機関、学生ボランティアの方々にお力添えいただき、盛況のうちに終えることができました。たくさんのご協力、ありがとうございました。



職員バレーボール大会

海上療養養所 成澤雅高

10月31日、法人職員の交流と懇親を兼ねてロザリオ体育館にて「第26回創立記念職員バレーボール大会」が開催されました。当日は大雨かつ強風でしたが、白熱した試合展開となりました。

試合は全6チーム参加の予定でしたが、聖マリア園グループがコロナ感染のため残念ながら棄権となり、5チームで優勝を争うこととなりました。全4試合、どの試合も素晴らしい試合でしたが、熱戦を制したのは法人本部グループでした。なんと昨年に引き続きの優勝でした。おめでとうございます。



準優勝も昨年に引き続き聖家族園グループでした。決勝戦はフルセットの大接戦の末、惜しくも敗れてしまいました。どちらも勝ってもおかしくない試合内容でした。まるでテレビのバレーボールの試合を観戦しているかのようなハラハラドキドキした本場に素晴らしい試合でした。

惜しくも敗れてしまった他のグループもチームワークが良く元氣よくプレーされていました。ラリーが良く続いており、アタックもよく決まっています。

昨年から再び開催されたバレー

ボール大会ですが、今年からは夏の暑さを考慮して10月開催となりました。

丁度ハロウィンということもあり、仮装して参加される方々も多く見受けられました。少し寒くなる時期の開催ではありましたが、皆さんの暖かい応援を受けたいへのびのびとプレーできたと思います。応援に来ていただいた皆様もお疲れ様でした。たくさんの方の応援ありがとうございました。

最後に大会の開催にあたりまして、福利厚生センターならびに関係者の皆様ご協力ありがとうございました。



法人本部



事務員

石田 奈美
1月より入社いたしました。まだ至らぬ点も多いと存じますが、一日も早く業務に慣れ、皆様のお役に立てよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

聖ヨセフつどの家



正看護師

根本 涼子
1月から勤務させていただきました。障害者支援施設での勤務は初めてなので、先輩方から一生懸命教えていただきました。よろしくお願いいたします。

海上療養養所



正看護師

遠藤 敬子
11月より暁の星病棟に入職しました。精神科は経験がないため不安もありますが、早く慣れるよう努力していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

新任者紹介

優勝

法人本部グループ

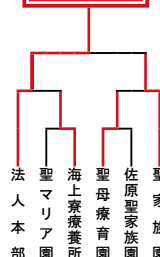


Photo Gallery

★聖マリア園★



美味しい食事に笑顔でピース♪



水族館に行ってきました ㇿ ㇿ

★マリアデイサービス★



みんなで メリークリスマス♪



年

末

★聖母通園センター★



クリスマス会に向けて準備♪

行

事

★聖母療育園★



イルミネーション綺麗だな～



ツリーと一緒に写真を撮ったよ♪



★佐原聖家族園★



カラオケ大会



バンドとセッション

★聖ヨセフつどいの家★



★リークリスマス★



クロカンラッシュ完成したよ〜♪



大

★ナザレの家かとり★



一年間お疲れさま



集



★ロザリオ発達支援センター★



かわいい雪だるまさんと一緒に☆

★みんなの家★

カメラさん、
イケメンでよろしく〜♪

★聖家族園★



クリスマス会楽しいね♪

★ワークセンター★



忘年会でデコエット♪



Instagram 開設しました！

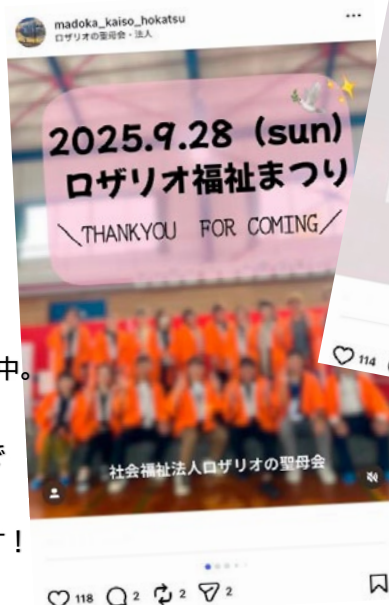


@MADOKA_KAISO_HOKATSU

法人のこと、海匝ネットワーク・
旭市中央地域包括支援センター・
Mado-ka の取り組みを中心に発信中。

QR コード読み取りか
「@madoka_kaiso_hokatsu」で
検索してください。

いいねやフォローお待ちしております！



ボランティア募集のお知らせ

ロザリオの聖母会では、施設や利用者のために常時ボランティアのご協力をお願いしています。お願いのできる方は是非、ご連絡ください。ご協力をお願いします。

問い合わせ

TEL 0479(60)0600
(担当 ボランティア係)

職員募集のお知らせ

精神科・障害児者医療に携わる看護師、入所・通所施設の利用者の支援員、各施設・事業所の事務員を募集しています。

◆随時面接を行っていますので、本部事務課までご連絡ください。

TEL 0479(60)0600

本誌のバックナンバーを
ロザリオウェブサイトを
(<https://www.rosario.jp>)
に掲載しています。

医療 保護 施設

海上療養所

就労継続支援 B 型事業所

ワークセンター

医療型障害児入所施設・療養介護事業所

聖母療育園

生活介護・児童発達支援・放課後等デイサービス（重点）

聖母通園センター

児童発達支援事業・放課後等デイサービス・相談支援事業

ロザリオ発達支援センター

旭市子ども発達センター

障害者支援施設

聖マリア園

障害者支援施設

聖家族園

障がい者の就労促進事業所

みんなの家

生活介護事業所

聖家族作業所

共同生活援助事業所

ナザレの家あさひ

地域包括支援センター

旭市中央地域包括支援センター

高齢者支援事業

ロザリオ高齢者支援センター

障害者支援施設

ロザリオ訪問介護事業所

障害者支援施設

佐原聖家族園

生活介護・放課後等デイサービス

聖ヨセフつどいの家

共同生活援助事業所

ナザレの家かとり

地域生活支援センター

友の家

中核地域生活支援センター

海匝ネットワーク

障害者就業・生活支援センター

東総就業センター

香取市相談支援事業

香取障害者支援センター

障害者就業・生活支援センター

香取就業センター



このロゴマークは、師イエズス修道女会 北爪悦子修道女 により作成されました。